

第6回 三重県手話言語に関する条例検討会 事項書

日時：平成28年2月16日（火）13:00～

場所：601 特別委員会室

1 関係者からの意見聴取

一般社団法人三重県聴覚障害者協会

会長 深川 誠子 氏

副会長 倉野 直紀 氏

三重県手話通訳問題研究会

会長 佐藤 俊通 氏

奥山 三重子 氏

2 その他

【資料】

検討会資料

資料1 第6回三重県手話言語に関する条例検討会に招致の関係者
関係者資料

三重県手話言語に関する条例（仮称）の制定に関する要望

第6回三重県手話言語に関する条例検討会に招致の関係団体

団体名：三重県聴覚障害者協会

会 員：正会員 316 名（うち理事 15 名）、賛助会員 89 名+1 団体

設立経緯：昭和 22 年 三重聾啞倶楽部 結成。

昭和 28 年 三重県身体障害者福祉団体連合会※が結成され、当該協会も参画。 ※現在の公益社団法人 三重県障害者団体連合会

平成 3 年 4 月 法人として認可され、社団法人三重県聴覚障害者協会となる。

平成 24 年 4 月 三重県聴覚障害者支援センターが開所。当該協会が、その指定管理者となる。

平成 26 年 4 月 社団法人から一般社団法人に移行。

活動内容：聴覚障がい者の権利や情報を保障し、生活の質を向上させるための様々な取組を行っている。

団体名：三重県手話通訳問題研究会

構 成 員：会員：264 名（うち運営委員 17 名）

設立経緯：昭和 60 年 全国手話通訳問題研究会三重支部として設立。

平成 23 年 三重県手話通訳問題研究会に名称を変更。

活動内容：一般社団法人三重県聴覚障害者協会や三重県手話サークル連絡協議会などと協力しながら、手話を通じて聴覚障がい者に関するいろいろな問題を学び活動している。

(参考紹介)

一般社団法人全国手話通訳問題研究会（通称：全通研）は、聴覚障害者福祉と手話通訳者の社会的地位の向上を目指して、手話や手話通訳、聴覚障害者問題についての研究・運動を行う全国組織。全 47 都道府県全てに支部を置き、聴覚障害者団体と共に地域の福祉向上のための活動や学習を行っている。

機関誌として『手話通訳問題研究』（研究誌）の発行、研究図書等の出版を行い、聴覚障害者問題の啓発に努めている。会員には手話通訳を職業とする人から手話を学ぶ人まで幅広くいる。（出典：同会のホームページより）